

世界情勢を彼の行動の指標として見、彼の再来のために主の回復の真理を広めることによって、神に仕える

<p>I. 私たちは今日のキリスト教の時代を特別な方法で知っている人である必要があります。それは特に、聖書の啓示、神聖な真理、真正で正確な神学との関係においてです:</p>	A. 今日の神学のうちで、ニケア信条も含めて、神の永遠のエコノミーの行動における神の霊に関する以下の五つの極めて重要な点を十分に強調しているものは一つもありません:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 命を与えるその霊が「まだなかった」こと。 2. 最後のアダムが命を与える霊と成ったこと。 3. 油塗る膏油によって予表される複合の霊。 4. ローマ第8章2節、9節から11節における、命の霊、神の霊、キリストの霊、キリストご自身、内住する霊がすべて、命を与える複合の霊を指していること。 5. 七つの霊。
	B. 信者たちは不完全で非聖書的な神学によって妨げられて、神の中心的な啓示を見ていません。また、彼らは神の霊に関する以上の五つの極めて重要な点を見失ったり、無視したり、それに反対したりしているので、神の永遠のエコノミー全体に到達していません。	
	C. 今日の主の回復はまさに、神の永遠のエコノミーの行動における神の霊に関するこれらの極めて重要な点の回復です。	
	D. 主の回復と神の中心的な啓示とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、召会がキリストのからだとなって、新エルサレムを究極的に完成するということです。これは、三つの時期(肉体と成った時期、包括の時期、強化の時期)におけるキリストの満ち満ちた務めです。	
	E. 主の現在の回復に関して、私たちはみな時代について行くべきであり、私たちの古い神学や、回復に対する私たちの古い理解によって妨げられてはいけません。	
<p>II. ゼカリヤ書が啓示しているのは、神聖な歴史の中で神のエコノミーを成就する道が、私たちの霊の中の七倍に強化された霊としてのキリストによるということ、また召会の建造が、恵みの頂石である七倍に強化された恵みの霊としてのキリストによって完成されるということです:</p>	A. 人類歴史の中の神聖な歴史の中心点は、キリストの二回の来臨であり、それはイエスの証しのため、神の建造のためです。	
	B. 私たちは、バビロンが売買や商業の邪悪によって特徴づけられており、むさぼり、欺き、金銭愛を含んでいることを見なければなりません。私たちのクリスチャン生活には金銭愛があるべきではなく、私たちのクリスチャンの働きはお金を稼ぐ仕事であるべきではありません:	<ol style="list-style-type: none"> 1. バビロンによって売られている荷の最初の項目は金であり、最後の項目は人の魂です。「人の魂」は、雇われるために自分自身を売って、神と彼らの永遠の運命を無視している人のことを指しています。 2. 神の主権は、イスラエルの民が捕囚にいた時にバビロン人から学んだ商業の中の悪を、バビロン(シナルの地)に戻るようにさせます。
	C. キリストは、神が四つの角を打ち砕くのに用いる最後の職人です。その四つの角は、四つの王国とその王たち(バビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ、ローマ帝国)であり、それらはまたダニエル第2章31節から33節における大きな人の像の四つの部分によって、またヨエル第1章4節のいなごの四つの段階によって、またダニエル第7章3節から8節の四頭の獣によって表徴されています。それらはみな神の選びの民を害し、破壊しました:	<ol style="list-style-type: none"> 1. 四人の職人は、神がこの四つの王国とその王たちを滅ぼすのに用いる技巧です。初めの三つの王国はそれぞれ(バビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ)、その後に来る王国によって技巧ある方法で取って代わられました。 2. 第四の職人は、人手によらずに切り出された石としてのキリストであり、彼は戻って来るとき、復興されたローマ帝国を打ち砕き、こうして人の統治の集大成としての大きな人の像を打ち砕きます。 3. この打ち砕く石は団体のキリスト、すなわち、キリストと彼の勝利者たちです。これらの勝利者たちは、彼がこの時代を終わらせるために用いる時代の手段です。 4. 団体のキリスト(キリストと彼の勝利を得た花嫁)は、来て反キリストを打ち破り、人の統治の総合計を打ち砕いた後、大きな山となって全地を満たし、全地を神の王国とさせます。この王国は新エルサレムにおいて究極的に完成し、それは神聖な歴史の究極的な完成の段階です。 5. こういうわけで、大きな人の像は神の永遠の王国によって、すなわち神のかたちにおいて神に栄光を得させる団体のキリストによって、置き換えられます。

ダニエル 2:31 王よ、あなたが見つめておられると、見よ、一つの大きな像がありました。この像は巨大で、その輝きはすばらしく、あなたの前に立っていました。その外観は恐ろしいものでした。32 この像については、その頭が純金、その胸と両腕が銀、その腹とももが青銅、33 そのすねが鉄、その足は一部が鉄、一部が粘土でした。7:3 すると、四頭の大きな獣が海から上がって来たが、それぞれ互いに異なっていた。7 この後、私が夜のビジョンの中で見ていると、見よ、第四の獣があり、恐ろしい、ものすごい、非常に強いものであった。それには大きな鉄の歯があり、食い尽くし、かみ砕き、残りをその足で踏みつけた。それは、その前にいたすべての獣と異なっていた。それには十の角があった。8 私がその角を注意して見ていると、見よ、もう一つの小さな角がそれらの間から出て来た。そして、初めの角の三つがその前で根から引き抜かれた。見よ、この角には、人の目のような目と、大きな事を語る口があった。ヨエル 1:4 かみ切るいなごが残したものは、群がるいなごが食べ、群がるいなごが残したものは、なめ尽くすいなごが食べ、なめ尽くすいなごが残したものは、食い尽くすいなごが食べた。

Ⅲ. 世界情勢は、地上における主の行動の指標です:	A. 不法の奥義が今日、諸国民と人類社会の中で働いています。この不法は、不法の者である反キリストにおいて頂点に達します:	1. 反キリストは、サタンの権勢、サタンの具体化となります。反キリストは、神の民(神を畏れるユダヤ人とキリストを信じるクリスチャンの両方)を迫害し、滅ぼします。
		2. 反キリストは神の宮と神の都を破壊し、荒廃させます。反キリストは真理を地に投げ捨てます。
		3. 反キリストは物事を理解する鋭敏な洞察力を持ち、いと高き方に逆らう事を語ります。
		4. 反キリストは、いと高き方の聖徒たちを疲れさせます。
		5. 終わりの時代に、サタンと反キリストは人の魂を得て自分たちの活動の手段とすることを欲します。
B. ダニエル第2章の大きな人の像の十本の足の指が予表している十人の王は、復興されたローマ帝国の最後のカイザルとなる反キリストの下に服します。これらすべてはヨーロッパで起こります:	1. 反キリストと人の統治の集大成が打ち砕かれることが起こる前に、主の回復はヨーロッパに広がってそこに根づかなければなりません。	
	2. アメリカ、ヨーロッパ、極東は、現在の世界情勢に影響を与える三つの要因です。主の回復はアメリカと極東には根づきましたが、ヨーロッパには空洞があります。	
	3. ダニエル第2章の大きな人の像に関するビジョンの成就が完成することにおいて、ヨーロッパは他のどの国や民族よりも決定的に重要です。大きな人の像の二本の足を打ち砕くことは、人の統治全体を打ち砕くことです。	
Ⅳ. 主の回復の真理が広がることは、主の再来のための準備となり、回復と復興をイスラエルにもたらすだけでなく、全被造物にももたらします:	A. キリストの昇天の直後に、この四つのもの、すなわち福音、戦争、飢きん、死は、四頭の馬に乗った騎手のように走り始めました。それはキリストの再来まで続きます:	1. 王国の福音が人の住む全地に広がり、走り、競争することは、人類歴史の中の神聖な歴史の核です。
		2. 王国の福音は、啓示録第6章1節から2節の第一の封印の白い馬によって表徴されており、この時代の終わりの前に、すなわち大患難の時の前に、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられます。
	B. 私たちが宣べ伝えているのは、部分的な福音ではなく完全な福音であり、それはマタイによる福音書から啓示録までのあらゆるものを含んでいます。それは神の永遠のエコノミーの福音です。すなわち、神が彼の法理的な贖いを通して、また彼の有機的な救いによって、彼ご自身をキリストの中でその霊として、彼の選ばれた人の中へと分与し、諸地方召会の中でキリストのからだを建造し、彼の花嫁また彼の妻としての新エルサレムを究極的に完成して、彼が永遠の表現を得ることで。	
	C. 事実上、福音はすべての神聖な真理を含んでいます。新約全体が福音です。福音としての新約は旧約によって予表されています。こういうわけで、私たちは福音が聖書全体を含んでいると言うことができます。	
	D. 神のこの時代における唯一の目的は、福音が宣べ伝えられるようにして、召会がキリストのからだとして建造されて、新エルサレムを究極的に完成することです。	
	E. キリストの栄光の福音を宣べ伝える勝利者たちは、白い馬に乗る騎手となります。	
F. どうかが主が私たちに負担を与えて、私たちが福音の神聖な真理を学び、主の回復のために、これらの真理をあらゆる所に広めて、彼の復興をもたらしますように。		

経験:ビジネス・ライフ編

- ① ヨエル 1:4 かみ切るいなごが残したものは、群がるいなごが食べ、群がるいなごが残したものは、なめ尽くすいなごが食べ、なめ尽くすいなごが残したものは、食い尽くすいなごが食べた。

一種類のいなごの四つの段階は、イスラエルを荒廃させた諸国の四つの継続する帝国を指しています。それはバビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ、ローマで、ローマ帝国の最後のカイザルとなる反キリストを含みます。

バビロンの王ネブカデネザルが来る約二百年前に、神は預言者を遣わし始めて、イスラエルに警告し、勧告し、彼らを召して神に立ち返らせました。しかしながら、イスラエルは預言者に聞き従いませんでした。このことが神に強いて四種類のいなごを遣わして、彼の民を懲らしめるようにしました。

聖書は二つの歴史の記録です。それは人の歴史(人類歴史)と神の歴史(神聖な歴史)です。前者は外側の殻のようであり、後者は殻の内側の核のようです。小預言書で、人類歴史ははっきりと説明され、ヨエル書第1章4節で述べられている四種類のいなごによって表徴されます。人類歴史の内側の神聖な歴史も、かなり詳しく啓示されています。神聖な歴史は、人性における三一の神の神聖な奥義として、過去の永遠に、永遠の神と彼の永遠のエコノミーをもって始まりました。それは継続して、キリストは肉体と成り、死に、葬られ、復活し、神の贖いと救いを地上のすべての諸国民に広げ、究極的に完成された霊を注ぎ出して三一の神の団体の表現としての召会を生み出し、諸国民の願い、また義の太陽として二回目に来臨し、彼の軍隊としての勝利者たちと共に来て、反キリストと彼の軍隊を打ち破り、シオンで千年王国において王として支配します。最終的に、王国は新しい天と新しい地における新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります。新エルサレムは神の歴史の究極、究極的完成の段階です。

目に見えるあなたのビジネス・ライフの背後に神の動きを見る必要があります。目に見える人の活動は殻であり、その内側の核は神の動きです。したがって、目に見えない背後の神の動きを見るができなければ、あなたの人生は殻だけのむなしい人生になります。ビジネス・ライフの様々な外側の状況において、あなたは主と交わり、兄弟姉妹と交わることによって、背後の神の働きと動きを見なければなりません。そうでなければ、あなたは外側の環境の変化によって振り回され、神のエコノミーを見失ってしまい、異邦人のビジネス・ライフと同じ生活を強いられ、いなごによって食い尽くされるでしょう。人類歴史は神の歴史のためです。同様に、ビジネス・ライフは召会生活のため、召会建造のためです。あなたは次のように祈るべきです、「主イエスよ、ビジネス・ライフにおいて、主と交わり、背後の神の動きを見出す洞察力を与えてください。私は多くの時間主に反逆して、いなごに食い尽くされる生活をしてきました。主よ、私の罪を赦し

てください。これ以上時間を浪費することはできません。主よ、私を助け、食い尽くされる生活から解放してください。それだけでなく、私は御言葉に従って、過去の食い尽くされた生活を償い戻して下さることを求めます。なぜならヨエル 2:25 が次のように言っているからです。『群がるいなご、なめ尽くすいなごと食い尽くすいなごとかみ切るいなご、すなわち私があなたの方に送った大軍勢が食べた年を、私はあなたがたに償い戻す』。アーメン! ハレルヤ!」。

- ② 啓 18:11 地の商人たちは、彼女のことで泣き悲しむ。なぜなら彼らの荷を買う者は、もはやいないからである。12 その荷は、金、銀、宝石、真珠、…13 また…ぶどう酒、油、麦粉、小麦、家畜、羊、馬、戦車、奴隷、人の魂である。

Ⅱテモテ 3:5 敬虔を装いながら、その力を否んでいる者となるからです。これらの者たちから離れ去りなさい。

ゼカリヤ 12:1 イスラエルについてのエホバの言葉の託宣。天を延べ、地の基を据え、人の霊をその中に形づくられたエホバはこう告げられる、

終わりの時代に、サタンと反キリストは人の魂を得て自分たちの活動の手段とすることを欲します。

日本人のビジネス・パーソンは、多くの人が仕事や金銭のために自分の魂を売り、召会生活を犠牲にしています。啓示録18:12-13の「その荷」に関するフットノートは言っています。「バビロンによって売られた荷の第一項目は、金であり、最後の項目は人の魂です。『人の魂』は、雇われるために自分自身を売る人々です。これは来たるべきバビロンだけでなく、今日の世界をも描写しています。人々は自分の魂を、自分の命を、すなわち自分自身を、その職業に売って、神と彼らの永遠の運命を無視しています」。

実際的なビジネス・ライフにおいて、あなたは過度な残業によって、集会に恒常的に参加できない状況を回避すべきです。突発的に残業で集会や奉仕に参加できないことがまれにあっても、決してそのような状況を恒常的なものとしてはいけません。このような実行は、実際には外側の問題ではなく、あなたの魂を仕事に売るかどうかという問題です。あなたは自分の霊を活用し、魂の命を失うことによって主に従って行き、魂の命を得る必要があるのです。

マタイ 10:37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。

38 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしくない。39 自分の魂の命を見いだす者はそれを失い、わたしのために自分の魂の命を失う者はそれを見いだす。

詩歌、665番奉仕 — 命の流れ出し

1. キリストあたえよ, ことばとこう為で。
せいかつをとおして, あわれなひとらに。
(復) キリストあたえよ, せいかつのなかで;
キリスト生かし出し, 持つものあたえよ。
2. キリストあたえよ, とうといなが主を;
したしいひとたちに, たからを得させよ。
3. キリストあたえよ, あなたのともらに;
自分の享受した主を, しゆくふくなる主を。
4. キリストあたえよ, 会うひとすべてに;
いのち, またすべての キリストあたえよ。

传扬福音—供应基督

1. 去向亡世供应基督, 非仅藉话之所云。
更藉生活分出基督, 供应可怜的人群。
(副) 去向亡世供应基督, 使祂显于你生活;
凭祂活着, 将祂分出, 使人与你同得着。
2. 去向亡世供应基督—你所有的宝贵主;
将你基督分给亲人, 作其成功与财富。
3. 去向亡世供应基督—你所享受的基督;
将你基督分给朋友, 作其夸耀与鸿福。
4. 去向亡世供应基督, 祂是你命并一切;
将你基督分给众人, 带人来尝祂超越。

,922 Preaching Of The Gospel – Imparting Christ

1. To the lost world minister Christ,
Not just by word, but by life,
Imparting Christ by living deeds
To the poor souls living in strife.
(C) To the lost world minister Christ,
By daily walk making Him known;
Imparting Christ by whom you live,
Share with all men what you own.
2. To the lost world minister Christ,
The precious One you possess,
Imparting Christ to those you love
As all their gain and success.
3. To the lost world minister Christ,
The very Christ you enjoy,
Imparting Christ to all your friends
As all their boast and their joy.
4. To the lost world minister Christ,
Who is your life and your all,
Imparting Christ to all you meet,
All fallen ones, great or small.